

令和8年度 椎葉村立大河内小学校 学校経営ビジョン

椎葉村の教育基本理念・基本方針

- 【基本理念】 「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 椎葉の人づくり」
 【基本方針】 「夢と志をもって可能性に挑戦し、未来を担う人づくり」 「自ら学び、人を育み、社会を創る人づくり」
 「伝統文化を担い、芸術・スポーツに親しむ人づくり」

新しい時代に必要な資質・能力

学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養
 生きて働く知識・技能の習得 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

社会に開かれた教育課程

教育の質を上げる働き方の見直し

大河内小学校の教育目標

思いやりの心もち、ふるさとを大切にする、かしこくたくましい大河内っ子の育成

めざす教師像

- 教育愛に燃え伸びる教師
- 研究と修養に努める教師
- 心豊かで信頼される教師

めざす児童像

- 自ら考える子
- 心の強い子
- 体のたくましい子

めざす学校像

- 楽しい学校
- 創造性豊かで活気のある学校
- 美しいきまりよい学校

学校経営方針

- 「人間尊重の精神」に徹し、一人一人の児童の自己肯定感・自己有用感を高める教育を組織的に行う。
- 他者とのかわりをおして、「生命を大切にする」教育を推進するとともに、児童が安心して学びに向かうことができる学習環境の整備に努める。
- 「認める」「支える」「鍛える」「褒める」指導をとおして、児童一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばす教育を推進する。
- 「教育は人なり」の理念に基づき、絶えず「教師力」「人間力」の向上を図りながら、教職員としての資質向上に努める。
- 伝統ある学校であることを自覚し、地域に根ざした開かれた学校の実現に努める。

令和8年度キャッチフレーズ

自分で自分の世界を広げようとする子どもが育つ学校

本年度の重点目標と目標達成のための手段、具体的な取組		具体的な数値目標等
思いを伝える力・主体的に学ぶ力の育成	【目標】 コミュニケーション能力や学びに向かう主体性を身に付けさせる。 ①主体的に学び合う授業実践 ○「ひなたの学び」の具現化（主体的な学び）を意識した授業実践 ○ICTを活用した授業の工夫・改善 ○椎葉村学（総合的な学習の時間）の完全実施と改善 ②発表する場・交流の場の設定、充実 ○業間活動の工夫や各種行事における発表の場、リアクションの場の設定 ○全校話し合い活動（ミーティングタイム）の深化 ○集合学習、ユニット学習の機会を生かした表現力・対人関係力育成 ③学習スキルの習得 ○複次指導において学び方を学ぶ学習過程の構築 ○家庭との連携を図った自己選択家庭学習の推進 ○読書習慣の形成 ○「聞き方」「話し方」のスキルの育成	学校評価3.5以上 授業研学期1回ずつの実施 1日1回以上の活用 実施率100% 行事等における毎回の実施 年間6回の実施 実施率100% 授業研学期1回ずつの実施 週1回の実施 読書量前年比プラス
	【目標】 あいさつ指導や自己肯定感を高める取組をとおして豊かな心を育む人権感覚を身に付けさせる。 ①相手を意識したあいさつの実施 ○あいさつに関するSWPBSの取組の推進 ○日常的な職員による相手を意識したあいさつの実施及び児童への指導 ②自己肯定感を高める教師の働きかけ ○日常生活の中での役割の明確化及び前向きな声かけ ○自然体験や文化体験の設定 ○地域を知るための職員研修の実施 ③命と心を育む日常的な教育の推進 ○命を大切にする教育の推進（7月実施、常時指導） ○教育相談の充実 ○人権感覚の向上 ○積極的生徒指導の推進	学校評価3.5以上 年間2回の実施 学校運営協議会による職員・児童の評価 学期毎の係、当番の設定 昨年度以上の回数の実施 夏季休業中1回以上の実施 始業式・終業式・7月完全実施 いじめ・不登校0
	【目標】 体力・健康づくりや食育・安全教育を充実させ、児童一人一人に望ましい習慣や実践力を身に付けさせる。 ①体力向上プランの完全実施 ○教科体育の充実（運動技能の向上のための指導） ○運動の日常化（外遊びの奨励、外部機関との連携他） ②健康教育の充実 ○心身の健康の保持増進を図る（保健指導、健康相談の充実） ○TTによる保健教育の充実 ○歯科保健教育の充実 ③危険予知能力や危険回避能力の育成 ○安全意識の向上を目指した安全教育（安全指導、安全学習）の充実 ○避難訓練の工夫 ○日常的指導の充実	学校評価3.5以上 SSP目標達成 外部機関と連携した持久走大会の実施 タブレット端末による心と体の健康観察月1回実施 「困ったときに相談できる大人がいる」と回答が90%以上 歯科受診率45%以上 施設設備の不備によるけが0 避難訓練完全実施
【目標】 学校と家庭・地域との連携を通じた教育活動を推進し、地域から信頼される学校づくりを行う。 ①地域を生かした学習の充実 ○地域素材・人材を積極的に活用したキャリア教育及び椎葉村学の実施 ○地域を学習の場とする活動の実施（農業体験、川での学習等） ②学校と家庭・地域の一体活動の充実 ○地域の伝統芸能及び文化の習得及び合同運動会や持久走大会の実施 ○家庭や地域への啓発活動（各種たより） ③地域学校協働活動の推進 ○学校運営協議会や地区役員、集落支援員との連携 ○実効性のある学校評価への改善	学校評価3.7以上 地域人材活用数昨年度以上 地域体験学習昨年以上 予定されている一体活動の完全実施 HP閲覧200万突破 学校運営協議会の完全実施 学校評価の改善実施	